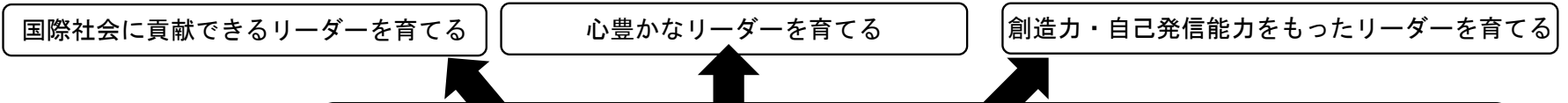


教育方針



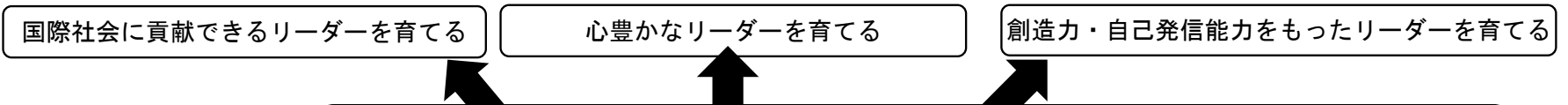
図工科が育てたい児童・生徒像

A. 用具や様々な作品の基礎的な知識を持ち、用具の発展的な扱いに習熟し成長段階に即した表現の幅を広げられる。  
 B. 作品の全体性の与える印象を感じ取り、造形性の諸要素との関係を言語化でき、またそれを制作に意識的に活かせる。  
 C. 作ることの喜びを味わうとともに、周りの生活の中で利用されていくことについて、積極的な感情を持つことができる。

5年

月	学習項目	学習目標・学習内容	探究				ポイント・補足
			【Ⅰ】仮説検証型	【Ⅱ】グローバル型	【Ⅲ】創造表現型	【Ⅳ】その他	
4	・デザイン 「文字の結晶」	・自分の一年の抱負を込めて作品化できる。			○		・作品の構想を通して、自分のこれからの生活を見通す。
5	・デザイン 「文字の結晶」	・自分の選んだ一字をきれいにカットし作品化する。	○				・構想に対して、様々な切り方を試行錯誤しながら、実現に向けて工夫を重ねる。
6	・木工作「アボリジニーテレフォン」 【集中】 ・木工作「アボリジニーテレフォン」	・遊ぶものを作る 木の性質、唸り木の仕組みを知り、構想を立てる。	○				…5月と同じ
7	・木工作「アボリジニーテレフォン」	・素材の性質を十分に考えて作品を完成させる	○				・構想に対して、様々な切り方を試行錯誤しながら、実現に向けて工夫を重ねる。
9	・木工作「アボリジニーテレフォン」 ・風景画 「教室の窓から…」	・自分の思いを表現できるような彩色・塗装を行えたか ・「目で見える」と「頭で見える」ことの違いを理解し、概念ではなく本当に「目で見える」姿勢を養う	○				・導入において、遠近法の学習を行う。校舎の見え方を例にして、目線の高さを中心に集約が行われることを導き出し、自分の絵に応用させる。
10	・風景画 「教室の窓から…」 【集中】	・物の位置関係をよく考えて絵画を完成させる	○				・見えるものをどのように平面上に表現できるかを試行錯誤する。
11	・風景画 「教室の窓から…」	・素材の印象を十分に考えて絵画を完成させる	○				…10月と同じ
12	・風景画 「教室の窓から…」	・素材の印象を十分に考えて絵画を完成させる ・観察 重色技法の習得	○				・薄塗りをしてから、色を重ねる技術を習い、自分の実際の絵に応用させる。
1	・風景画 「教室の窓から…」	・素材の印象を十分に考えて絵画を完成させる ・観察 重色技法の習得	○				…1月と同じ
2	・風景画 「教室の窓から…」	・素材の印象を十分に考えて絵画を完成させる ・観察 重色技法の習得	○				…1月と同じ
3	・陶芸 「器を作ろう」	・器の機能と信楽土の特性をよく考えて、自分が使いたい「器」のアイデアを出す。 ・粘土の様々な「つくり」を習得しながら、使用に耐える器を作る。			○		・自分の生活の中から必要な器を構想し、どのような器があれば生活が豊かになるか、考える。

教育方針



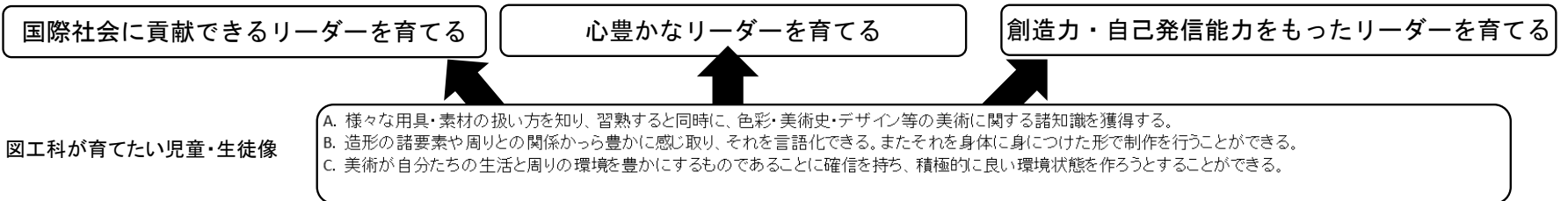
図工科が育てたい児童・生徒像

A. 用具や様々な作品の基礎的な知識を持ち、用具の発展的な扱いに習熟し成長段階に即した表現の幅を広げられる。  
 B. 作品の全体性の与える印象を感じ取り、造形性の諸要素との関係を言語化でき、またそれを制作に意識的に活かせる。  
 C. 作ることの喜びを味わうとともに、周りの生活の中で利用されていくことについて、積極的な感情を持つことができる。

6年

月	学習項目	学習目標・学習内容	探究				ポイント・補足
			【Ⅰ】仮説検証型	【Ⅱ】グローバル型	【Ⅲ】創造表現型	【Ⅳ】その他	
4	・オリエンテーション鑑賞「抽象絵画」	・抽象表現及び超現実主義の表現について理解する。	○				・単純な色や線が感情を想起させる抽象表現について学習し、それを応用して実際にそのような効果があるのか、検証する。
5	・陶芸「器づくり」	・自分の生活を彩るような器を考える。 ・粘土の特徴を理解し、造形する能力を養う。	○				・粘土造形の諸技術を習得しながら、自分の作りたい器の完成のために、技術を応用して、完成を目指していく。
6	・陶芸「器づくり」	・自分の生活を彩るような器を考える。 ・粘土の特徴を理解し、造形する能力を養う。	○				…5月と同じ
7	・抽象平面表現「モダンテクニック」	・色や形がもたらす印象の特徴をつかむ。	○				・抽象表現で習ったことを活かしながら、偶然にできる様々な模様が、どのような感情を想起させるのか、題名をつける活動を通して、明確化させていく。
9	・一版単色刷り版画「開智カレンダー」	・自分が担当する月にふさわしいテーマを考え、カレンダーの図柄にする。 ・版の反転について理解し、また、トレーシングペーパーの使い方を習得する。			○		・フィールドワークで行った富山をもとに、版画カレンダーを作るために、富山の風物や生活について学習を行う。
10	・一版単色刷り版画「開智カレンダー」	・彫刻刀で様々な種類の掘り方をマスターする。			○		・フィールドワークで行った富山をもとに、版画カレンダーを作るために、富山の風物や生活について学習を行う。
11	・一版単色刷り版画「開智カレンダー」	・図柄に合わせて彫刻刀を使い分けて版を彫る。	○				・自分が構想したカレンダーを完成させるために、習った彫りの技術を応用して、完成に近づける。
12	・一版単色刷り版画「開智カレンダー」	・図柄に合わせて彫刻刀を使い分けて版を彫る。	○				…11月と同じ
1	・一版単色刷り版画「開智カレンダー」	・刷りの技法について理解し版画の反復性を理解する。	○				…11月と同じ
2	・一版単色刷り版画「開智カレンダー」	・刷りの技法について理解し版画の反復性を理解する。	○				・自分が構想したカレンダーを完成させるために、習った刷りの技術を応用して、完成に近づける。
3	・一版単色刷り版画「開智カレンダー」	・刷りの技法について理解し版画の反復性を理解する。	○				…2月と同じ

教育方針

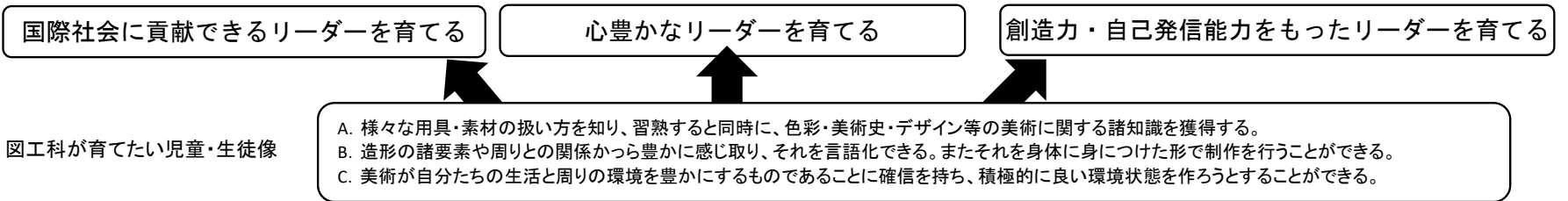


図工科が育てたい児童・生徒像

7年

月	学習項目	学習目標・学習内容	探究				ポイント・補足
			【Ⅰ】仮説検証型	【Ⅱ】グローバル型	【Ⅲ】創造表現型	【Ⅳ】その他	
4	・オリエンテーション(1h)	・今までの図工と違う美術について何を行うのか、見直しを持つ。					
5	・木工「木彫本棚」(2h)	・様々な彫り方を駆使して作品をイメージに近づける。			○		・自分たちの生活の中で使いたくなるような本棚とそのデザインを考える
6	・木工「木彫本棚」(2h) 【集中授業】・木工「木彫本棚」(3h)	・様々な彫り方を駆使して作品をイメージに近づける。 ・1枚の木から本棚になるパーツを切り出してやすりがけ等表面の加工を施す。	○				・自分が構想したデザインに近づけるために、彫りの仕方を工夫して、試行錯誤して行う。
7	・木工「木彫本棚」(1h) 【集中授業】・木彫本棚(3h)	・様々な彫り方を駆使して作品をイメージに近づける。 ・やすりがけをして、表面を整える。	○				…6月と同じ
8	【集中授業】・デザイン「色彩学」(3h)	・色彩の基礎理論とアクリルガッシュの使い方を習得する。	○				・習った色彩理論を応用して、自分が表現したい「感じ」を表すような模様を作る。
9	・デザイン「開発ポスター」(2h)	・様々なポスターを観賞すると同時に、そのポスターが与える「イメージ」を深く考える。 ・自分の学校について分析し、どのようなイメージを相手に持ってもらうかを踏まえてアイデアを練る。			○		・ポスターの目的である『集客』を軸に、どのような客層を集めるのか、他のポスターは、どのような『狙い』を持っていたのか、などを分析し、自分のポスター制作に活かす
10	・デザイン「開発ポスター」(2h)	・全体の雰囲気を表すのにふさわしいロゴや全体の配色などアイデアスケッチの詳細を詰めていく。			○		・ポスターの目的である『集客』を軸に、どのような客層を集めるのか、他のポスターは、どのような『狙い』を持っていたのか、などを分析し、自分のポスター制作に活かす
11	・デザイン「開発ポスター」(1h) 【集中授業】・デザイン「開発ポスター」(3h)	・本番の紙に鉛筆で下書きを描く。 ・背景と絵の部分を塗る。	○				・自分のイメージするポスターに近づけるために、試行錯誤する。
12	・デザイン「開発ポスター」(1h) 【集中授業】・デザイン「開発ポスター」(3h)	・文字の転写作業を行う。 ・文字の部分を塗る。細かい修正や仕上げを行う。	○				…11月と同じ
13	・デザイン「開発ポスター」(1h)	・文字の部分を塗る。細かい修正や仕上げを行う。	○				…11月と同じ
14	・鑑賞「作家研究」(2h)	・作品の鑑賞を通して、美術史の大まかな流れを知る。	○				・美術史上の絵画を模写することで、そこに描かれているものや、その描かれ方について疑問を持ち、その理由を検証していく。
15	・鑑賞「作家研究」(2h)	・作品の鑑賞を通して、美術史の大まかな流れを知る。	○				…2月と同じ

教育方針



図工科が育てたい児童・生徒像

8年

月	学習項目	学習目標・学習内容	探究				【Ⅰ】仮説検証型【Ⅱ】グローバル型 【Ⅲ】創造表現型【Ⅳ】その他 ポイント・補足
			Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	
4	・鑑賞「作家研究」	・自分で決めた作家の生涯と作品の特徴を理解する。					
5	・木工「ロッカープロジェクト」(2h)	・作るロッカーの絵の下描きを行う。 ・板にナンバーとともに絵を転写をする。			○		・自分たちの学校環境を良くするために、どのようなロッカーを作ればよいのか、グループで話し合う。
6	・木工「ロッカープロジェクト」(2h)	・板にナンバーとともに絵を転写をする。 ・片切り彫りでレリーフを作成する。	○				・自分たちで構想したロッカーを作るにあたって、習ってきたどの彫刻刀の技術が最適か、試しながら気づいていく。
7	・木工「ロッカープロジェクト」(1h)	・片切り彫りでレリーフを作成する	○				・自分たちで構想したロッカーを作るにあたって、習ってきたどの彫刻刀の技術が最適か、試しながら気づいていく。
8	【集中授業】 ・木工「ロッカープロジェクト」(3h)	・片切り彫りでレリーフを作成する	○				…7月と同じ
9	・木工「ロッカープロジェクト」(1h)	・塗装・仕上げ工程を行う	○				・自分たちで構想したロッカーを作るにあたって、様々な彩色技法の中でどれが最適か、試しながら気づいていく。
10	・木工「ロッカープロジェクト」(2h)	・塗装・仕上げ工程を行う	○				…10月と同じ
11	【集中授業】 ・「自画像」	・「いま」の自分の顔を、なぜ作家たちは描いてきたのか、観賞を通して理解する。 ・自分の顔と向き合いながら、自分の内面とも向き合いながら描写していく			○		・「今の自分」を未来の自分が見たときに思い出せるようにするためには、どのように表現したらよいのか、様々な事例からヒントを探す。同時に、「今の自分」がどのような存在なのかについて、深める。
12	【集中授業】 ・「自画像」	・自分と向き合いながら、自分の顔を描写していく。	○				・デッサン技法を用いて、「今の自分」を効果的に表すにはどうすればよいのか、試行錯誤しながら完成を目指す。
13	・「自画像」	・自分と向き合いながら、自分の顔を描写していく。	○				・デッサン技法を用いて、「今の自分」を効果的に表すにはどうすればよいのか、試行錯誤しながら完成を目指す。
14	・「自画像」	・アクリルガッシュで着色を行う。	○				・彩色技法を用いて、「今の自分」を効果的に表すにはどうすればよいのか、試行錯誤しながら完成を目指す。
15	・「自画像」	・アクリルガッシュで着色を行う。	○				・彩色技法を用いて、「今の自分」を効果的に表すにはどうすればよいのか、試行錯誤しながら完成を目指す。